

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせた作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. D-103

部門名：校内研修プログラム開発・実践部門 エントリー名：つば市立竹園東小学校 永岡範之 平成25年度第3回中堅教員研修

活動名： チーム企画で研修の活性化 プロジェクト型組織の活用を通して

解決すべき課題：
 本校児童は比較的学力が高く、知的好奇心が旺盛である。しかし近年、特別支援学級児童の増加や保健室登校児童の存在によって学級経営における課題が顕在化し、また、授業改善等の研修の必要性は感じているものの、教職員が自発的に学び合う機会をつくることのできない状況にあった。つまり、多角的な校内研修によって教職員のスキルや資質・能力の向上が必要であったが、担当教員の個人の意識の差や特定の研修の実施への偏り等、校内研修体制に課題を抱えていた。そこで、中堅教員研修での「研修講師となるための知識・技術」や「学校組織マネジメント」で学んだ研修の技術的な側面と課題に即した組織運営の方法を参考にしながら本校におけるプロジェクト型組織に着目し、校内研修の活性化を構想していった。

目標・方針： ※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。

本校グランドデザインにはいくつかの重点課題が4つのプロジェクトベースで示されており、その柱立てに沿って取り組む組織構成になっている(図1)。しかしその組織に所属する教職員で何かに取り組むという機能までは持てておらず、校内研修は、研修担当のみが計画して行っていた。そこで、既存のプロジェクト型組織を生かし、様々な領域の角度からチーム組織を巻き込んだ校内研修を戦略的・計画的に実施すれば、本当に必要な校内研修を主体的に、かつ協働的に行うことが可能となるのではないかと考えた。

活動内容： ※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください

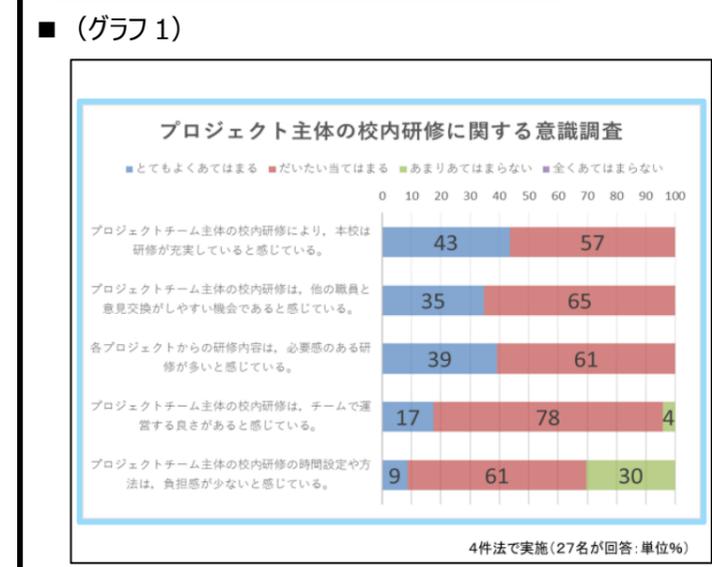
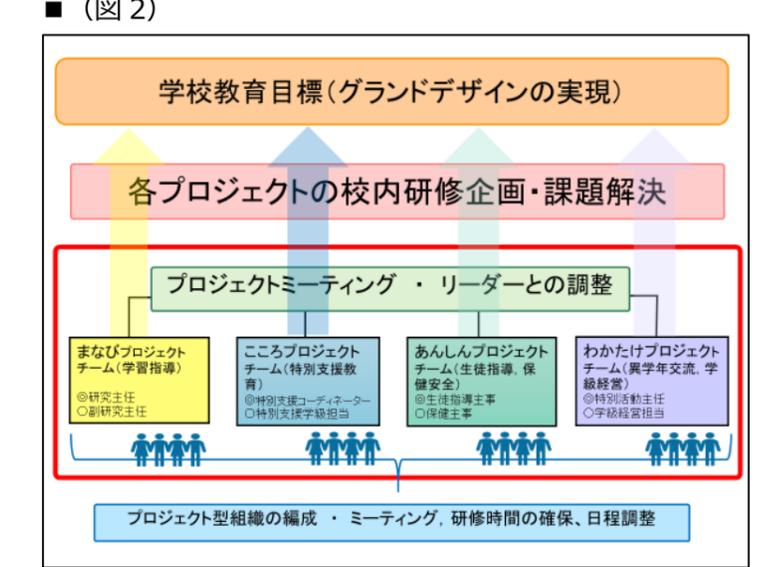
筆者が活動の仕掛けとして行ったのは、「組織の再編成」と活動の核となる会議「プロジェクトミーティング」の設定である。年度始めに校長から出される重点課題に合わせ、管理職と相談しながら校務分掌等を勘案してチーム組織を編成した(図2)。また、1ヶ月、または2ヶ月に1度のペースで計画したプロジェクトチームごとのミーティングを通じて、各プロジェクト(今年度は「まなび：学習領域」「あんしん：生徒指導、保健安全領域」「ここ：特別支援教育領域」「わかたけ：特別活動、学級経営領域」)の領域に関わる課題に対する施策を協議すると共に、どのような校内研修が有効かを検討してきた(写真1)。4人のプロジェクトリーダーと研修内容や日程の調整を行い、各プロジェクトチーム主体の校内研修が実施されている。また、ミーティングでの情報は全職員で共有できるようにしている(写真2)。

活動の成果： ※課題設定に対して、どんな影響、変化があったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。

2018年度4月からスタートした本実践は、昨年度の反省を踏まえ、今年度4月にプロジェクト型組織の再編成を行った。組織のアップデートによってチームのミッションがより明確になり、活動がしやすくなった等の声が聞かれている。また、このような校内研修ができないか、このようなことについてプロジェクトで話し合いたい等の内発的な動きが見られ、課題解決、研修立案の雰囲気は確立されてきている(グラフ1)。今年度赴任してきた新たな教職員からは、プロジェクトミーティングでの取組から、自分達で作り上げる雰囲気があってとてもよいシステムであるとの声が聞かれ、学校長は、ミーティングでは誰がリーダーだか分からない程に議論が活発であると評した。研修形態も回を重ねる度に工夫が加わり、短時間研修やワールドカフェ方式、円形ボードの活用など、バリエーション豊かな方法がとられている(写真3)。また、学年組織での会議が疎かにならないための回数の調整をしながら持続可能な研修体制を構築している(表1)。

アピールポイント(アイデアや工夫)： ※3~5つ程度、箇条書きしてください

- ・学校の重点課題を踏まえたチーム組織編成による校内研修体制の構築
- ・年間を通じたプロジェクトミーティングによる教職員同士をつなぐコミュニケーションの機会と工夫
- ・チーム組織主体による課題解決や校内研修の実施とその方法の工夫
- ・職員の入れ替えにも対応できる持続可能な研修体制の構築



■ (表1)

期	日	研修内容	研修内容
4	4	プロジェクトミーティング	プロジェクトチームについて(研修の趣旨と方向性)
4	17	プロジェクト主催研修 まなびプロジェクト	外国語をジャンル100の活用
7	23	プロジェクト主催研修	ICTモラル研修
7	24	プロジェクトミーティング	
7	25		プログラミング教育研修
7	29	プロジェクト主催研修	9/11の歴史の深い南郷の研修実施 情報教育推進研修 特別活動推進研修
8	23	プロジェクト主催研修	ピアサポート研修 働き方改革に関する研修 授業実践研修
9	11		各学年1クラス学級経営実践研修公開
9	30	プロジェクト主催研修	特別の教科指導研修②
10	21	プロジェクトミーティング	職員にきてねカードを使った研修 研修
11			
12	2	プロジェクトミーティング	
12	8		